

2019年度 学生生活の満足度調査結果（グローバルビジネス学科）

1. 調査回答者

4年次 51名

2 調査結果

1) 満足度調査

領域	項目	1. 不満	2. やや不満	3. やや満足	4. 満足	0. その他	計
教務	カリキュラム(教育課程)	0人 0%	1人 2%	30人 59%	20人 39%	0人 0%	51人
	授業	0人 0%	3人 6%	26人 51%	22人 43%	0人 0%	51人
	シラバス	1人 2%	1人 2%	27人 53%	22人 43%	0人 0%	51人
	履修システム (履修登録などを行えシステム)	1人 2%	0人 0%	23人 45%	27人 53%	0人 0%	51人
	履修指導	0人 0%	2人 4%	22人 43%	27人 53%	0人 0%	51人
	3つの学びの組み合わせ	1人 2%	2人 4%	29人 57%	19人 37%	0人 0%	51人
	海外研修プログラム (参加学生のみ回答)	2人 7%	3人 11%	13人 48%	9人 33%	-人 -	27人
学生生活	セミナーや卒業研究	0人 0%	1人 2%	16人 31%	34人 67%	0人 0%	51人
	教員のサポート体制	1人 2%	3人 6%	22人 43%	25人 49%	0人 0%	51人
	職員のサポート	2人 4%	3人 6%	22人 43%	24人 47%	0人 0%	51人
	ポートフォリオのシステム (夢カルテなど)	0人 0%	5人 10%	33人 65%	13人 25%	0人 0%	51人
	地域交流プログラム (参加学生のみ回答)	4人 8%	6人 13%	23人 48%	15人 31%	-人 -	48人
キャリアアップ	国際交流プログラム (参加学生のみ回答)	4人 8%	7人 15%	23人 48%	14人 29%	-人 -	48人
	就職支援体制	2人 4%	4人 8%	25人 49%	20人 39%	0人 0%	51人
	資格取得支援体制	1人 2%	5人 10%	30人 59%	14人 27%	1人 2%	51人
	キャリアアップ科目	1人 2%	7人 14%	29人 57%	12人 24%	2人 4%	51人
	資格取得対策講座 (参加学生のみ回答)	2人 4%	5人 10%	28人 56%	15人 30%	-人 -	50人
自治会活動 学科行事	インターンシップ (参加学生のみ回答)	4人 8%	5人 10%	23人 46%	18人 36%	-人 -	50人
	大学祭	3人 6%	13人 25%	18人 35%	15人 29%	2人 4%	51人
	スポーツ大会	4人 8%	7人 14%	26人 51%	14人 27%	0人 0%	51人
	部、クラブ、サークル活動 (参加学生のみ回答)	5人 10%	9人 18%	24人 49%	11人 22%	-人 -	49人
施設	図書館	1人 2%	9人 18%	20人 39%	21人 41%	0人 0%	51人
	食堂	0人 0%	10人 20%	20人 39%	20人 39%	1人 2%	51人
	保健室	1人 2%	4人 8%	25人 49%	20人 39%	1人 2%	51人
	施設や設備全般	3人 6%	8人 16%	22人 43%	17人 33%	1人 2%	51人
総合	総合的に 学生生活に満足していますか？	2人 4%	1人 2%	26人 51%	21人 41%	1人 2%	51人

※「その他」は、無回答または複数回答のため判別がつかなかったものです。

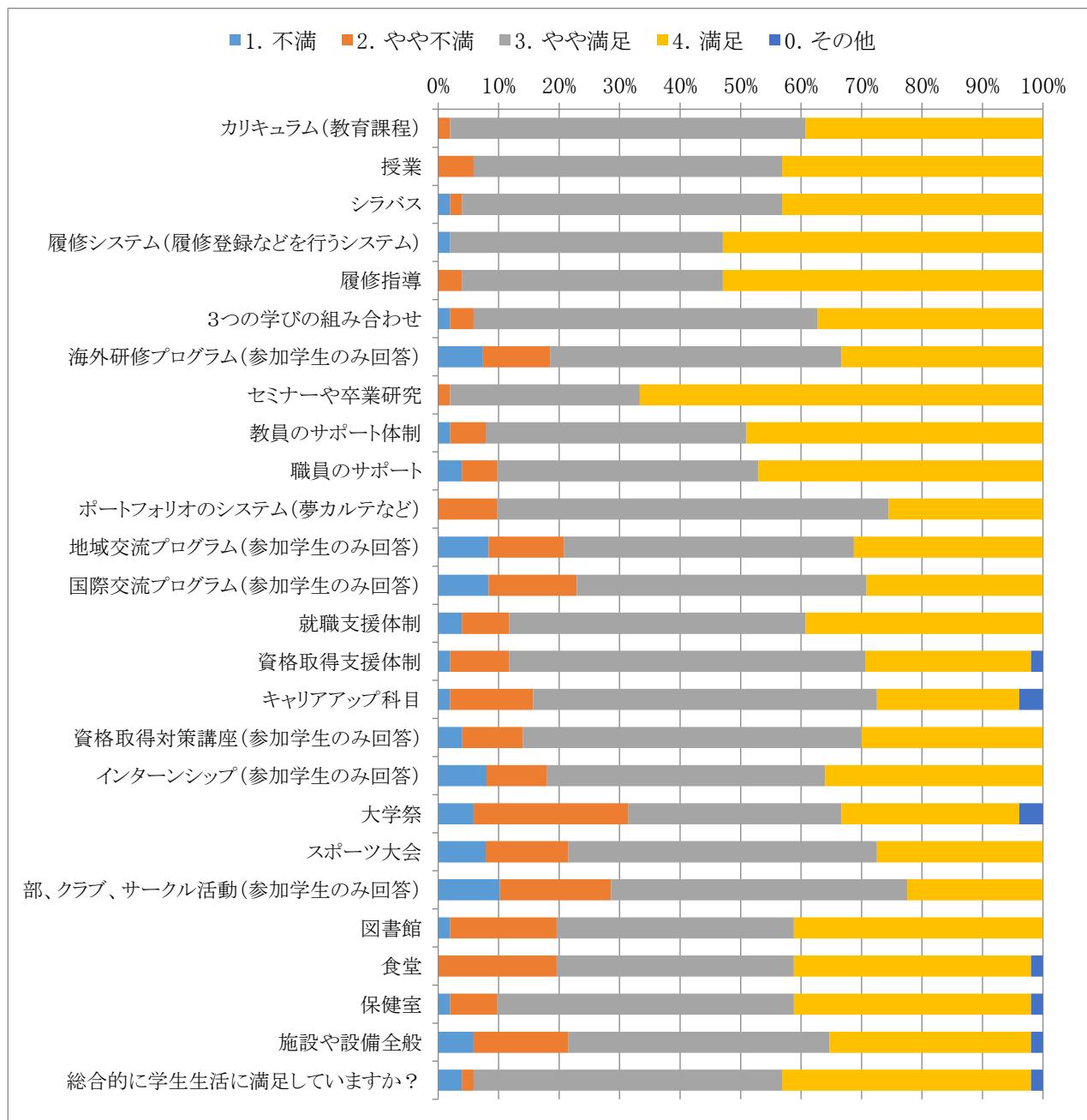
2) 自己点検

項目	1. 身に付かなかつた	2. あまり身に付かなかつた	3. まあまあ身に付いた	4. 身に付いた	0. その他	計
幅広い教養	0人 0%	7人 14%	25人 49%	11人 22%	8人 16%	51人
人間性や社会性	0人 0%	6人 12%	25人 49%	12人 24%	8人 16%	51人
物事を多角的にとらえる能力	1人 2%	5人 10%	25人 49%	12人 24%	8人 16%	51人
コミュニケーション能力	1人 2%	4人 8%	22人 43%	16人 31%	8人 16%	51人
IT活用能力	0人 0%	12人 24%	24人 47%	7人 14%	8人 16%	51人
グローバルマインド	0人 0%	5人 10%	29人 57%	9人 18%	8人 16%	51人
経済・経営・会計などの専門知識・技能	0人 0%	4人 8%	28人 55%	10人 20%	9人 18%	51人

※「その他」は、無回答または複数回答のため判別がつかなかったものです。

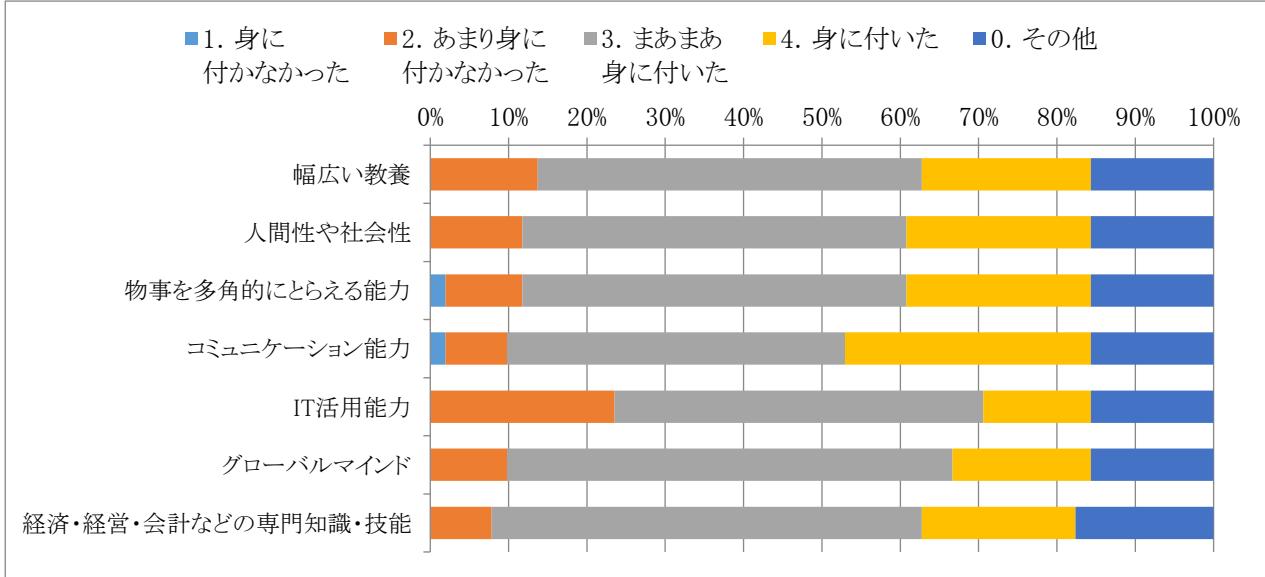
3 グラフ

1) 満足度調査



※「その他」は、無回答または複数回答のため判別がつかなかったものです。

2) 自己点検



※「その他」は、無回答または複数回答のため判別がつかなかったものです。

4 自由記述

- ・とくに職員の対応に不満。
- ・もっと、部、クラブ、サークル活動
- ・ありがとうございました！！！
- ・チューター（丸井）の面倒見がとても良かった！！
- ・月曜日と金曜日の授業数が少なく、ほとんどが留学生向けの日本語授業であったため、日本人向けの授業を入れてほしいと思った。
- ・ゼミ先生が最高でした。
- ・チューターが良かった。

5 まとめ

1) 満足度調査

総合評価(質問 26:総合的に満足しているか)については 94.0%(回答した 50 人に対して 47 人)が満足の傾向(「満足」+「やや満足」)を示している。これは、本アンケートにあげた個別の項目、および、あげていない項目をあわせた評価であり、概ね良好といえる。ただし、下記のように、領域・項目により評価が分かれているのも事実であり、満足度が低い項目について重点をおいて取り組む必要がある。

領域別(各領域の合計)でみると、満足度(「満足」+「やや満足」)は「教務 95.3%(前年度 91.2%)」、「学生生活 85.9%(前年度 84.4%)」、「キャリアアップ 85.6%(前年度 78.4%)」、「自治会活動・行事 72.5%(前年度 79.0%)」であった。それぞれの領域で前年度との大きな差は認められない。ただし、年次進行により開講科目が減少する状況で、「教務」の満足度を例年通り 90%代に維持できたことは、学科教員による履修指導、授業・セミナーへの取り組みによる成果と言える。「キャリアアップ」は前年度より 7pt ほどアップしたが 90%に届かず、4 年次、3 年次(後期のみ)の学生のみとなる 2020 年度における重点領域となる。新型コロナウィルスの影響などにより就職活動の形態が変化していく現状において、キャリアセンターからの情報を学科での指導に反映させることを申し合わせた。

また、項目別にみると「カリキュラム」、「履修システム」、「セミナーや卒業研究」が 98.0%と高く、年次進行により

学科としての取り組みを終了しつつある「国際交流プログラム」、「大学祭」、「部、クラブ、サークル活動」は 80% 以下となった。今後は、残る学生のニーズ、希望にあわせて、授業・セミナー指導、就職支援に重きをおいていくことになる。

2)自己点検

ディプロマポリシーに相当する項目の自己点検では、身に付いた（「身に付いた」+「まあまあ身に付いた」）という評価は 7 項目合計で 85.0% であった。これは、前年度 80.4%、前々年度 68.0% を上回る結果である。

項目別には、評価が高かったのは、「経済・経営・会計などの専門知識・技能 90.5%（前年度 80.0%）」、「グローバルマインド 88.4%（前年度 76.9%）」、「コミュニケーション能力 88.4%（前年度 86.3%）」である。これは学科の3つの学びに相当し、学生と教員が意識して学びに取り組んだ成果と言える。その他の項目は、「人間性や社会性 86.0%（前年度 90.2%）」、「物事を多角的にとらえる能力 86.0%（前年度 82.0%）」、「幅広い教養 83.7%（前年度 82.4%）」「IT 活用能力 72.1%（65.4%）」の順であった。ここで、IT 活用能力については、IT 分野だけでなく経済の科目でもこの力を伸ばすことに取り組み、前々年度 57.0%、前年度 65.4% から本年度 72.1% と高上したものであり、本年度もこの取り組みを継続する。

以上のように学科の 3 つの学びを中心に、すべての科目で学生の自己評価は高上しており、学科はディプロマポリシを満たすための学修環境を提供できたと考えている。

* 5) まとめにおける数値はすべて無回答にあたる「0.その他」を除いたものである。

2019年度 学生生活の満足度調査結果（健康福祉学科）

1. 調査回答者

4年次 49名

2 調査結果

1) 満足度調査

領域	項目	1. 不満	2. やや不満	3. やや満足	4. 満足	0. その他	計
教務	カリキュラム(教育課程)	0人 0%	6人 12%	25人 51%	17人 35%	1人 2%	49人
	授業	0人 0%	4人 8%	27人 55%	17人 35%	1人 2%	49人
	夢カルテ	0人 0%	7人 14%	22人 45%	19人 39%	1人 2%	49人
	履修指導	1人 2%	7人 14%	19人 39%	17人 35%	5人 10%	49人
	社会福祉士受験資格取得にともなう実習・演習(該当学生のみ)	0人 0%	4人 12%	14人 42%	15人 45%	1人 -	33人
	健康運動実践指導者受験資格取得にともなう実習・演習(該当学生のみ)	0人 0%	5人 14%	12人 34%	18人 51%	1人 -	35人
学生生活	教員のサポート体制	0人 0%	6人 12%	23人 47%	18人 37%	2人 4%	49人
	職員のサポート	0人 0%	3人 6%	26人 53%	19人 39%	1人 2%	49人
	ボランティア活動の支援	2人 4%	9人 18%	23人 47%	14人 29%	1人 2%	49人
	オフィスアワーの利用	3人 6%	13人 27%	19人 39%	13人 27%	1人 2%	49人
キャリアアップ	就職支援体制	5人 10%	2人 4%	26人 53%	15人 31%	1人 2%	49人
	資格取得支援体制	3人 6%	12人 24%	18人 37%	15人 31%	1人 2%	49人
	インターンシップ	3人 6%	11人 22%	18人 37%	16人 33%	1人 2%	49人
	企業情報演習	4人 8%	13人 27%	14人 29%	16人 33%	2人 4%	49人
自治会活動	大学祭	7人 14%	10人 20%	13人 27%	16人 33%	3人 6%	49人
	スポーツ大会	5人 10%	15人 31%	16人 33%	13人 27%	0人 0%	49人
学科行事	クラブ・サークル活動	5人 10%	11人 22%	17人 35%	14人 29%	2人 4%	49人
	オリエンテーションキャンプ	2人 4%	11人 22%	17人 35%	18人 37%	1人 2%	49人
施設	図書館	1人 2%	14人 29%	15人 31%	19人 39%	0人 0%	49人
	食堂	0人 0%	10人 20%	22人 45%	17人 35%	0人 0%	49人
	保健室	1人 2%	12人 24%	20人 41%	15人 31%	1人 2%	49人
	施設や設備全般	2人 4%	7人 14%	26人 53%	14人 29%	0人 0%	49人
総合	総合的に学生生活に満足していますか？	0人 0%	8人 16%	26人 53%	14人 29%	1人 2%	49人

※「その他」は、無回答または複数回答のため判別がつかなかったものです。

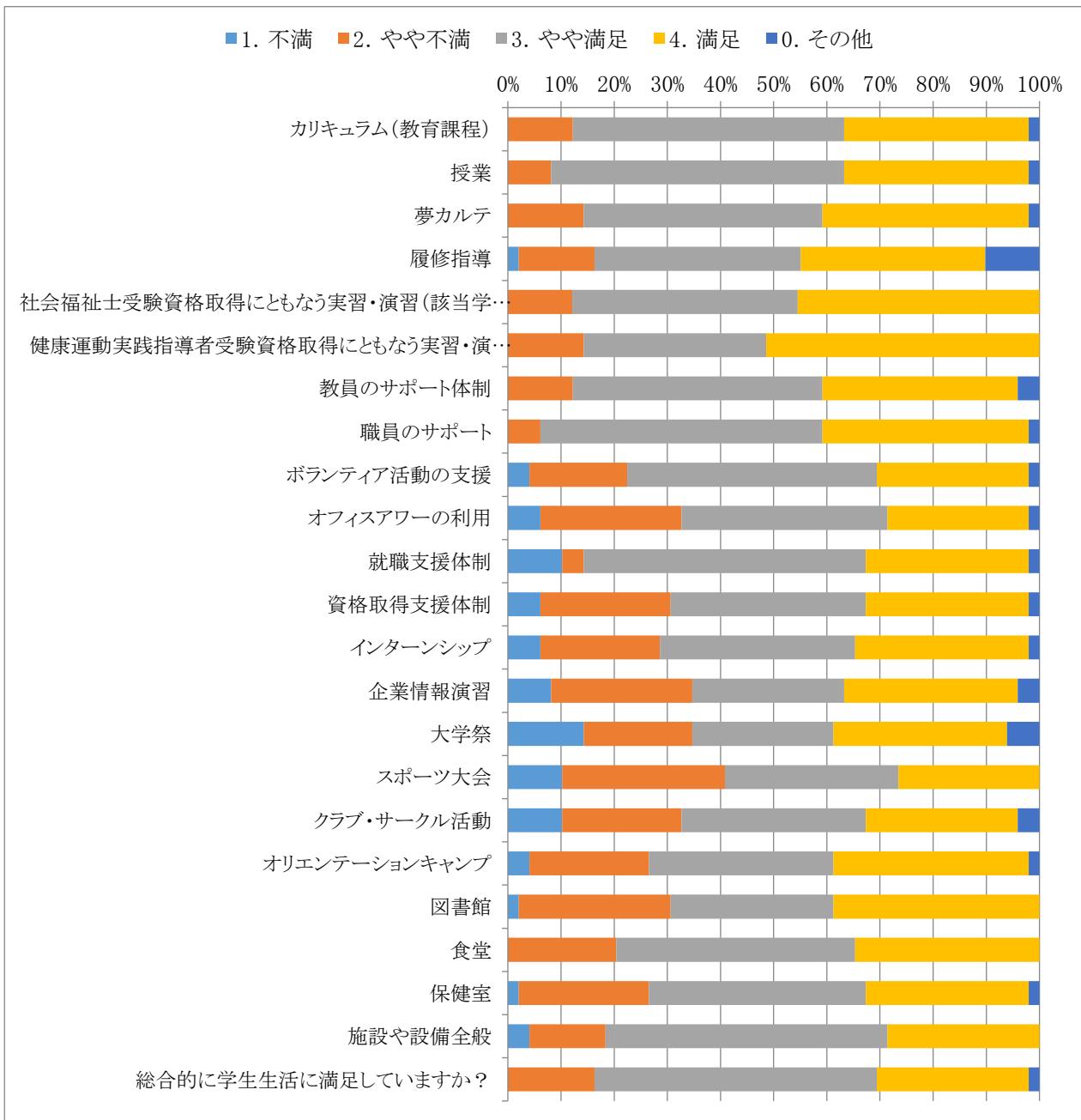
2) 自己点検

項目	1. 身に付かなかつた	2. あまり身に付かなかつた	3. まあまあ身に付いた	4. 身に付いた	0. その他	計
ボランティア活動等を通じて、地域貢献する気持ちが涵養されましたか	0人 0%	9人 18%	24人 49%	16人 33%	0人 0%	49人
社会人として他人を思いやる心や感動する心が養われましたか	0人 0%	8人 16%	24人 49%	17人 35%	0人 0%	49人
職業人として守るべきルールやマナーが身に付きましたか	0人 0%	8人 16%	24人 49%	17人 35%	0人 0%	49人
健康づくりの専門家として業務を遂行するための知識・技術が身に付きましたか	0人 0%	7人 14%	25人 51%	16人 33%	1人 2%	49人
福祉施設等で専門職として職務を遂行するための知識・技術が身に付きましたか	1人 2%	3人 6%	7人 14%	10人 20%	28人 57%	49人

※「その他」は、無回答または複数回答のため判別がつかなかったものです。

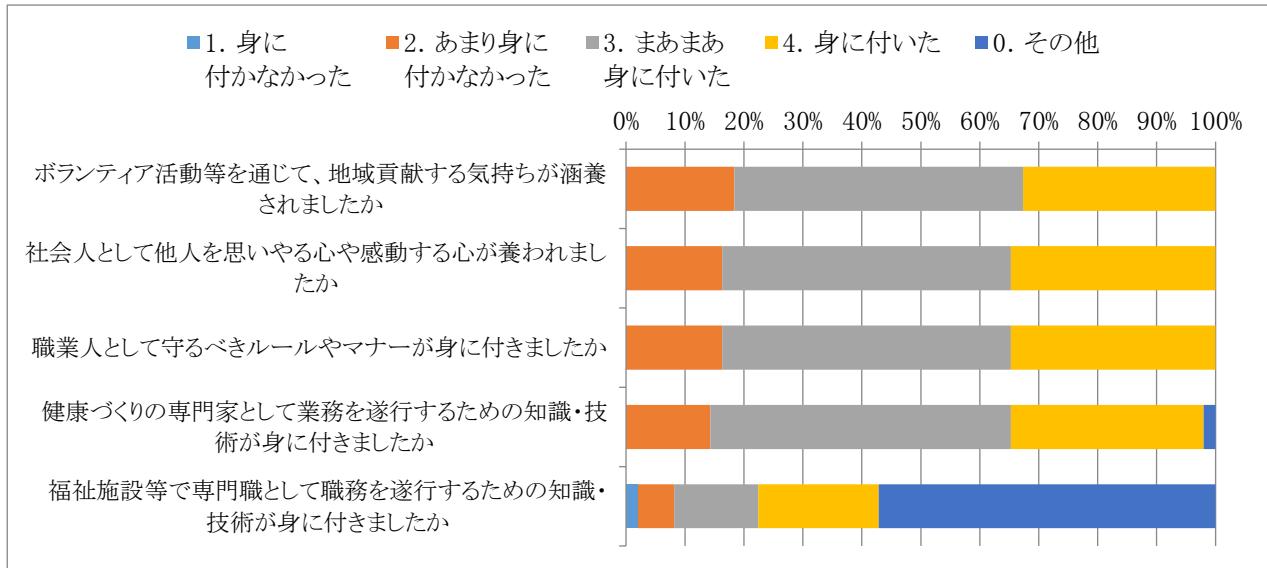
3 グラフ

1) 満足度調査



※「その他」は、無回答または複数回答のため判別がつかなかったものです。

2) 自己点検



※「その他」は、無回答または複数回答のため判別がつかなかったものです。

4 自由記述

- ・まあ、楽しい学生生活を送ることができました。
- ・「夢カルテ」は、各学期の目標を定める事ができ、非常に良かった。また、講義については、どなたの担当の先生も、毎回、詳しい資料を作成してくださり、学習が身についた。

1) 満足度調査

「大学生活全般」の満足度（「満足」＋「やや満足」）は、72%で、昨年度（80%）と比較すると、数値が下がっている。教務についてみると、「カリキュラム」「履修指導」の数値が高い数値になっている。なお、社会福祉士受験資格取得および健康運動実践指導者受験資格取得の満足度は、設問方法が悪かった影響（例えば、社会福祉士の実習を行った者のみ回答するように注意書き、記入指導を行ったが、回答している学生が多かった。）で正確な数値が得られていないが、福祉系は74%、健康系は51%となっている。社会福祉士および健康運動実践指導者に関する満足度調査項目の設定方法については、引き続き検討課題とする。

学生生活は、教員のサポート体制は88%となっている。オフィスアワーの利用については70%で、昨年度（70%）と比較するとほぼ遜色ない数値となっている。オフィスアワーについての掲示、告知をセミナー等を通じて行った結果であると考えることができる。学生生活の満足度を高めるためにも引き続き実施する。「保健室」についての満足度68%、昨年度（69%）と比較すると遜色ない。

2) 自己点検

ボランティア活動等を通じ、地域貢献する気持ちが涵養された（やや満足＋満足）が68%。社会人として他人を思いやる心や感動する心が養われた（やや満足＋満足）が70%。職業人として守るべきルールやマナーが身に付いた（やや満足＋満足）が72%。健康づくりの専門職として業務を遂行するための知識・技術が身についた（やや満足＋満足）が64%（昨年度は72%）。福祉施設等で専門職として職務を遂行するための知識・技術が身についた（やや満足＋満足）が66%（昨年度は64%）。学科として共通の部分となる3分野について、昨年度と比較すると改善された。セミナー等を通じて満足度をあげるための取組を行う。

専門職教育の2つの分野については、健康系については、評価が下がったが、福祉系についての評価は昨年並みであった。夢カルテを活用するなどして、学生の将来の進路希望にあわせた履修指導等を行い改善に努める。

2019年度 学生生活の満足度調査結果（看護学部）

1. 調査回答者

4年次 108名

2 調査結果

1) 満足度調査

領域	項目	1. 不満	2. やや不満	3. やや満足	4. 満足	0. その他	計
教務	カリキュラム(教育課程)	1人 1%	28人 26%	65人 60%	14人 13%	0人 0%	108人
	授業	4人 4%	22人 20%	71人 66%	11人 10%	0人 0%	108人
	授業での学外演習 (情島演習、津波避難訓練など)	3人 3%	29人 27%	60人 56%	15人 14%	1人 1%	108人
	各コースのカリキュラム (コース選択学生のみ回答)	1人 2%	7人 14%	29人 59%	12人 24%	一人 -	49人
	各コース制における講義・演習 (コース選択学生のみ回答)	1人 2%	8人 17%	27人 57%	11人 23%	一人 -	47人
	各コース制における実習 (コース選択学生のみ回答)	1人 2%	9人 19%	24人 51%	13人 28%	一人 -	47人
学生生活	式・行事 (入学宣誓式、宣誓式、公開講座など)	7人 6%	36人 33%	50人 46%	14人 13%	1人 1%	108人
	教員のサポート体制	2人 2%	15人 14%	59人 55%	32人 30%	0人 0%	108人
	職員のサポート	1人 1%	14人 13%	59人 55%	34人 31%	0人 0%	108人
キャリアアップ	ボランティア活動への支援	3人 3%	18人 17%	75人 69%	12人 11%	0人 0%	108人
	就職支援体制	1人 1%	16人 15%	61人 56%	30人 28%	0人 0%	108人
	資格取得支援体制	3人 3%	17人 16%	62人 57%	26人 24%	0人 0%	108人
	就職に関連した取り組み	0人 0%	22人 20%	62人 57%	24人 22%	0人 0%	108人
自治会活動	国家試験対策に関連した取り組み	9人 8%	26人 24%	53人 49%	20人 19%	0人 0%	108人
	大学祭	14人 13%	47人 44%	38人 35%	9人 8%	0人 0%	108人
	スポーツ大会	12人 11%	47人 44%	43人 40%	6人 6%	0人 0%	108人
学科行事	クラブ・サークルの活動 (クラブ・サークル加入者のみ回答)	7人 10%	24人 34%	32人 45%	8人 11%	一人 -	71人
	大学祭	14人 13%	47人 44%	38人 35%	9人 8%	0人 0%	108人
施設	図書館	4人 4%	15人 14%	57人 53%	32人 30%	0人 0%	108人
	食堂	7人 6%	27人 25%	59人 55%	15人 14%	0人 0%	108人
	保健室	1人 1%	12人 11%	62人 57%	33人 31%	0人 0%	108人
	施設や設備全般	15人 14%	47人 44%	38人 35%	8人 7%	0人 0%	108人
総合	総合的に 学生生活に満足していますか？	0人 0%	19人 18%	69人 64%	17人 16%	3人 3%	108人

※「その他」は、無回答または複数回答のため判別がつかなかったものです。

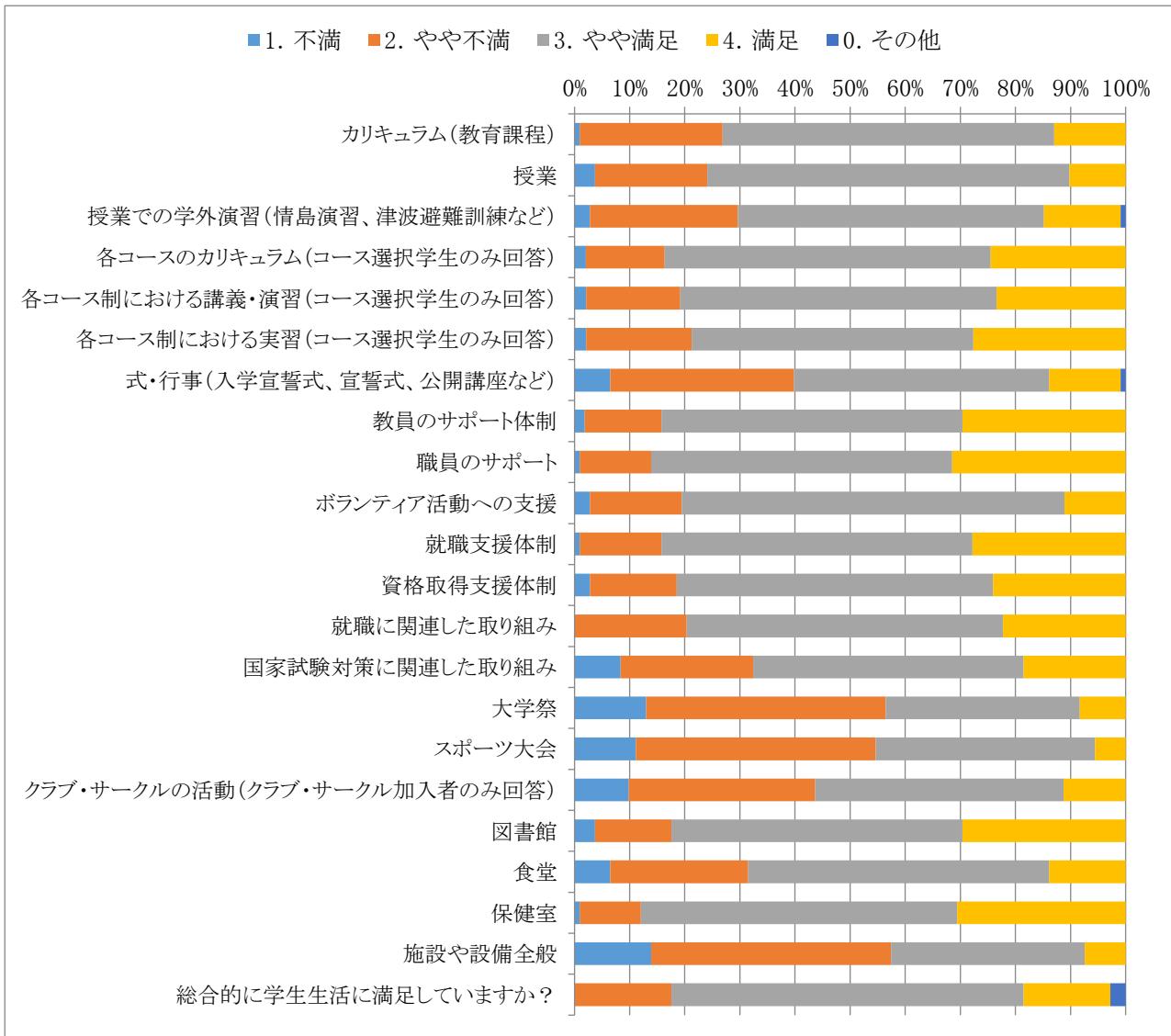
2) 自己点検

項目	1. 身に付かなかった	2. あまり身に付かなかった	3. まあまあ身に付いた	4. 身に付いた	0. その他	計
看護専門職者としての豊かな人間性	0人 0%	5人 5%	76人 70%	22人 20%	5人 5%	108人
看護専門職者としての高い倫理的態度	0人 0%	7人 6%	71人 66%	25人 23%	5人 5%	108人
看護専門職者としての専門知識	0人 0%	11人 10%	78人 72%	14人 13%	5人 5%	108人
看護専門職者としての技術	2人 2%	12人 11%	78人 72%	11人 10%	5人 5%	108人
看護専門職者としての実践力	1人 1%	14人 13%	76人 70%	12人 11%	5人 5%	108人
看護専門職者としての社会に貢献する力	0人 0%	15人 14%	72人 67%	16人 15%	5人 5%	108人
看護専門職者としての問題解決能力	0人 0%	9人 8%	77人 71%	17人 16%	5人 5%	108人
看護専門職者としての自己成長する力	0人 0%	7人 6%	74人 69%	22人 20%	5人 5%	108人
看護専門職者としてのコミュニケーション・スキル	0人 0%	7人 6%	74人 69%	22人 20%	5人 5%	108人
看護専門職者として獲得した知識・技術・態度を総合的に活用する力	0人 0%	7人 6%	74人 69%	22人 20%	5人 5%	108人

※「その他」は、無回答または複数回答のため判別がつかなかったものです。

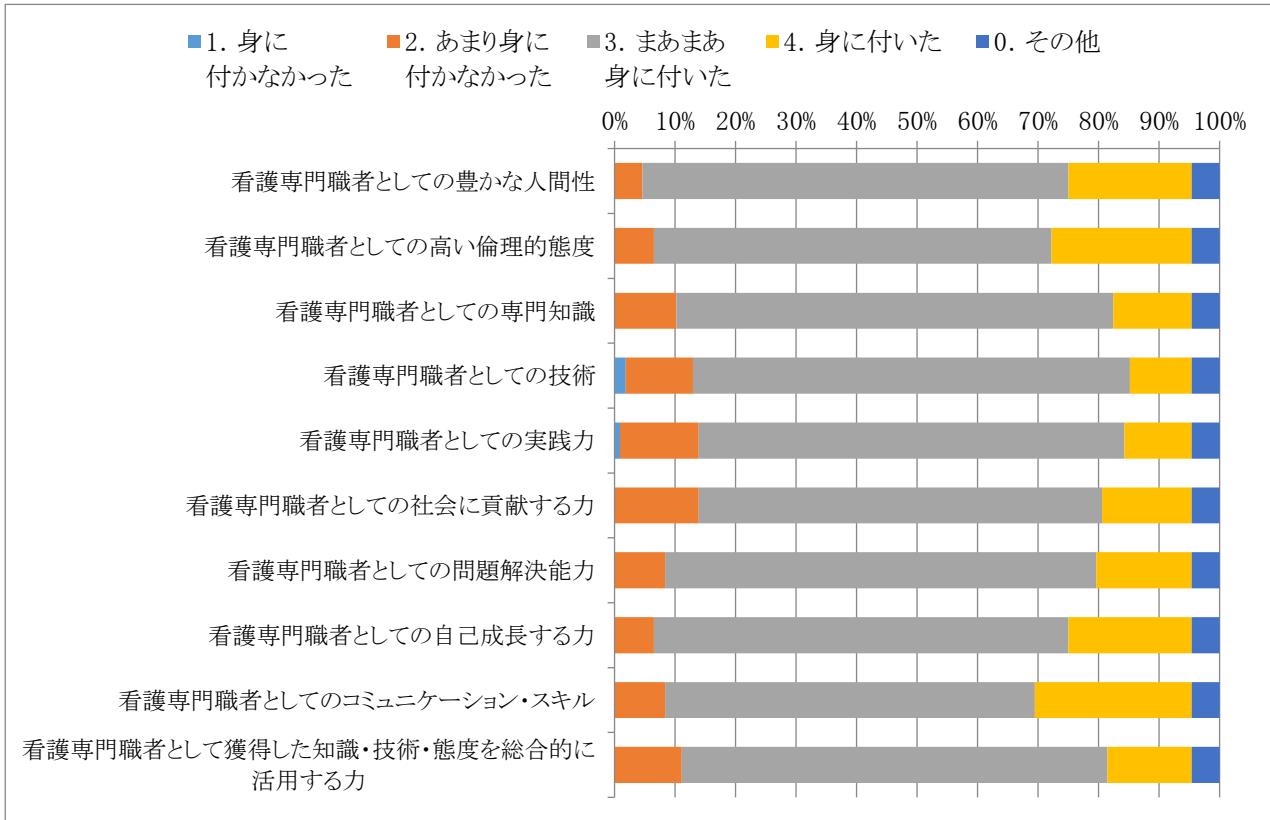
3 グラフ

1) 満足度調査



※「その他」は、無回答または複数回答のため判別がつかなかったものです。

2) 自己点検



※「その他」は、無回答または複数回答のため判別がつかなかったものです。

4 自由記述

- ・楽しい大学生活でした。
- ・良い仲間に出会えて、楽しい大学生活を過ごせました。
- ・充実した大学生活でした。
- ・楽しく過ごせた。
- ・先生方に何度も助けられ、この大学で良かったなと心から思います。
- ・個人で学習できるスペースを増やしてほしかった。
- ・なんだかんだ大学生活は楽しかったです。
- ・良い学生生活が送れた。
- ・一部の教員が悪い。
- ・一部の教員によって楽しくなくなってしまうことがあります。
- ・とても充実した学校生活でした。カリキュラムも良かったと思います。
- ・中々良かった。
- ・先生達がわが子のように支えてくれる。すばり止めで受けた大学だったけど、この大学で良かったと思います。無事に看護師になって恩返しします！
- ・充実していた。
- ・楽しかったです。もっと学生でいたい。
- ・公務員試験対策をコースで行うことで、保健師の市町村への内定率が変化してくると思いました。
- ・楽しかった。
- ・大学の開放時間を延長してほしかった。
- ・楽しかった。
- ・勉強につきあってくれた先生、ありがとうございます。

5 まとめ

1) 満足度調査

全 22 項目の満足度調査項目の内 15 項目において、満足を示す項目の「やや満足」「満足」の占める割合が 70% 以上であること、総合的な満足度の回答項目における同割合が 80% である事から、全体としての満足度は高いと考える。

「教務」領域内では、「各コースのカリキュラム (83%)」が最も高かった。本学で目指したコースとしての専門職になるためのカリキュラムが整っていることに満足できたと考える。「学生生活」領域では、「教員のサポート (85%)」「職員のサポート (86%)」、「キャリアアップ」領域では「就職支援体制」が 84% であった。4 年生は、就職活動、国家試験対策等、卒業に向けての課題と共に将来に関わる多くの事を自己決定する時期である。その中で、学生個人では解決できない部分での相談や自己決定の支援が満足度につながったと考える。就職支援体制では、ゼミによる学生個々での対応だけではなく、就職・キャリア支援委員会が主となりマイナビなど専門性のある方を招いて学年ごとにビジネスマナーや書類の書き方・身だしなみ等について講義・演習の時間を設けている。特に就職活動については 2 年後期～3 年後期に行っており、就職活動への意識を高め、就職活動遅れないよう、また実践的な内容である事が評価されているものと考える。その他に 80% 以上を占めているのは、「施設」領域の「保健室 (88%)」、「図書館 (83%)」であり、2 年次同様に評価は高い。4 年次は卒業までに行うべき事が多く、特に自分の将来に関わる国家試験が控えている。このことから身体的・精神的なストレスは 4 年間の中で最も高いものと考える。そのような状況の中、保健室内部に学生相談室が設置してあると同時に心理カウンセラーが待機し、いつでも話を聞いてもらえる場があるということは、学生の安心感へとなるだけではなく、前向きに学習を継続させていく力と繋がっていると考える。また、臨地実習、国家試験受験があり、集中して学習できる環境と、専門書や国試対策本の充実が必要である。教員や国家試験対策委員会が学生の要望も聞き、図書選定を行っているため、学生の満足度も高いと考える。

一方、不満足を示す項目の「やや不満足」「不満足」の占める割合が 30% 以上を占めるのは「自治会活動・学科活動」領域の「大学祭 (57%)」「クラブ・サークル活動 (44%)」「スポーツ大会 (54%)」である。「大学祭」については、2 年次のまとめでも述べたように、企画・運営は自治会役員が進めており他の学生の意見を反映するという試みはあまり見られないことも原因の一つと思われる。また、4 年次は、卒業に向けての課題のほかに、就職活動や国家試験受験など時間的にも精神的にも余裕がない状態であることも影響している。企画などについて意見を聞くような取り組みを今後検討する。また、「クラブ・サークル活動」は、4 年次に行える状況ではない事から不満足が高い結果となったと考える。その他「施設」領域の「施設や設備全般 (58%)」と 40% 以上を占めている。施設について自由記載にあるように学習環境の充実を求めるものであった。昨年「食堂 (41%)」だったが、本年度は「食堂 (31%)」で、「やや不満足」「不満足」は、10 ポイント低下した。これは、食堂スペースを広げ、学習環境として使用しても良いように使用時間延長（～20 時まで）を行った結果であると考える。しかし、「施設や設備全般 (58%)」については、自由記述にもあるように、学習できるスペースの増加、大学で学習できる時間の延長など、「学習したい」という学生の学習意欲を充足させるための場所の確保や時間延長に伴う安全の確保などの検討が必要である。

2) 自己点検

調査項目すべてが満足を示す項目の「やや満足」「満足」の占める割合が全て 80% 以上であり、全体としての自己点検評価としては高い結果であった。最も高かった項目は同割合が 94% の「看護専門職者としてのコミュニケーション・スキル」であった。次いで「看護専門職者としての豊かな人間性 (90%)」「看護専門職者としての高い倫理態度 (89%)」「自己成長する力 (89%)」であり、3 年後期から 4 年前期まで行う臨地実習での学習体験やアクティブラーニングによる学習から力が身に付いたと感じられたものと考える。最も高かった「看護専門職者としてのコミュニケーション・スキル (94%)」については、年齢、性別、症状、治療など様々な状況の対象者であること、言語的・非言語的コミュニケーション

ヨンを用いるが特に治療的コミュニケーションであることである。現代の若者のコミュニケーション能力の低下がみられる中 94%の 4 年次生が、「看護専門職者としてのコミュニケーション・スキル」の力が身についていると評価している。このことは、本学の技術教育が現在の学生の状況を理解し、少しづつレベルアップできるようカリキュラムが組まれていること、また学内の演習においても皆が教員の技術を見て学ぶ、自ら実践して振り返り、どうすべきであるかを更に考えるという過程を定着させていることにあると考える。また、臨地実習においては、対人援助を意識し、人間関係について振り返る機会が多いことが考えられる。

その他の項目はほぼ同評価であり、4 年間での本学における教育によって専門的な知識・技術・態度が養われたと感じられている事が伺える。

2019年度 学生生活の満足度調査結果 (子ども学科)

1. 調査回答者

4年次 80名

2 調査結果

1) 満足度調査

領域	項目	1. 不満	2. やや不満	3. やや満足	4. 満足	0. その他	計
教務	カリキュラム(教育課程)	0人 0%	7人 9%	58人 73%	14人 18%	1人 1%	80人
	授業	1人 1%	4人 5%	58人 73%	16人 20%	1人 1%	80人
	卒業研究指導	1人 1%	10人 13%	33人 41%	35人 44%	1人 1%	80人
	実習指導体制	2人 3%	5人 6%	45人 56%	27人 34%	1人 1%	80人
学生生活	教員のサポート体制	2人 3%	4人 5%	45人 56%	28人 35%	1人 1%	80人
	職員のサポート	2人 3%	6人 8%	44人 55%	26人 33%	2人 3%	80人
	保健室・学生相談室のサポート	1人 1%	13人 16%	45人 56%	20人 25%	1人 1%	80人
	ボランティア活動	3人 4%	7人 9%	53人 66%	16人 20%	1人 1%	80人
	サークル活動	4人 5%	11人 14%	43人 54%	20人 25%	2人 3%	80人
キャリアアップ ^{アッピング}	就職支援体制	1人 1%	12人 15%	36人 45%	30人 38%	1人 1%	80人
	資格取得支援体制	3人 4%	5人 6%	44人 55%	26人 33%	2人 3%	80人
自治会活動	大学祭	1人 1%	6人 8%	39人 49%	33人 41%	1人 1%	80人
	スポーツ大会	3人 4%	3人 4%	48人 60%	25人 31%	1人 1%	80人
	オリエンテーションキャンプ	2人 3%	5人 6%	45人 56%	27人 34%	1人 1%	80人
	こどもまつり	2人 3%	2人 3%	48人 60%	27人 34%	1人 1%	80人
施設	図書館	3人 4%	6人 8%	43人 54%	28人 35%	0人 0%	80人
	食堂	5人 6%	13人 16%	40人 50%	22人 28%	0人 0%	80人
	保健室	2人 3%	14人 18%	40人 50%	24人 30%	0人 0%	80人
	施設や設備全般	2人 3%	14人 18%	41人 51%	22人 28%	1人 1%	80人
総合	総合的に 学生生活に満足していますか？	2人 3%	1人 1%	40人 50%	27人 34%	10人 13%	80人

※「その他」は、無回答または複数回答のため判別がつかなかったものです。

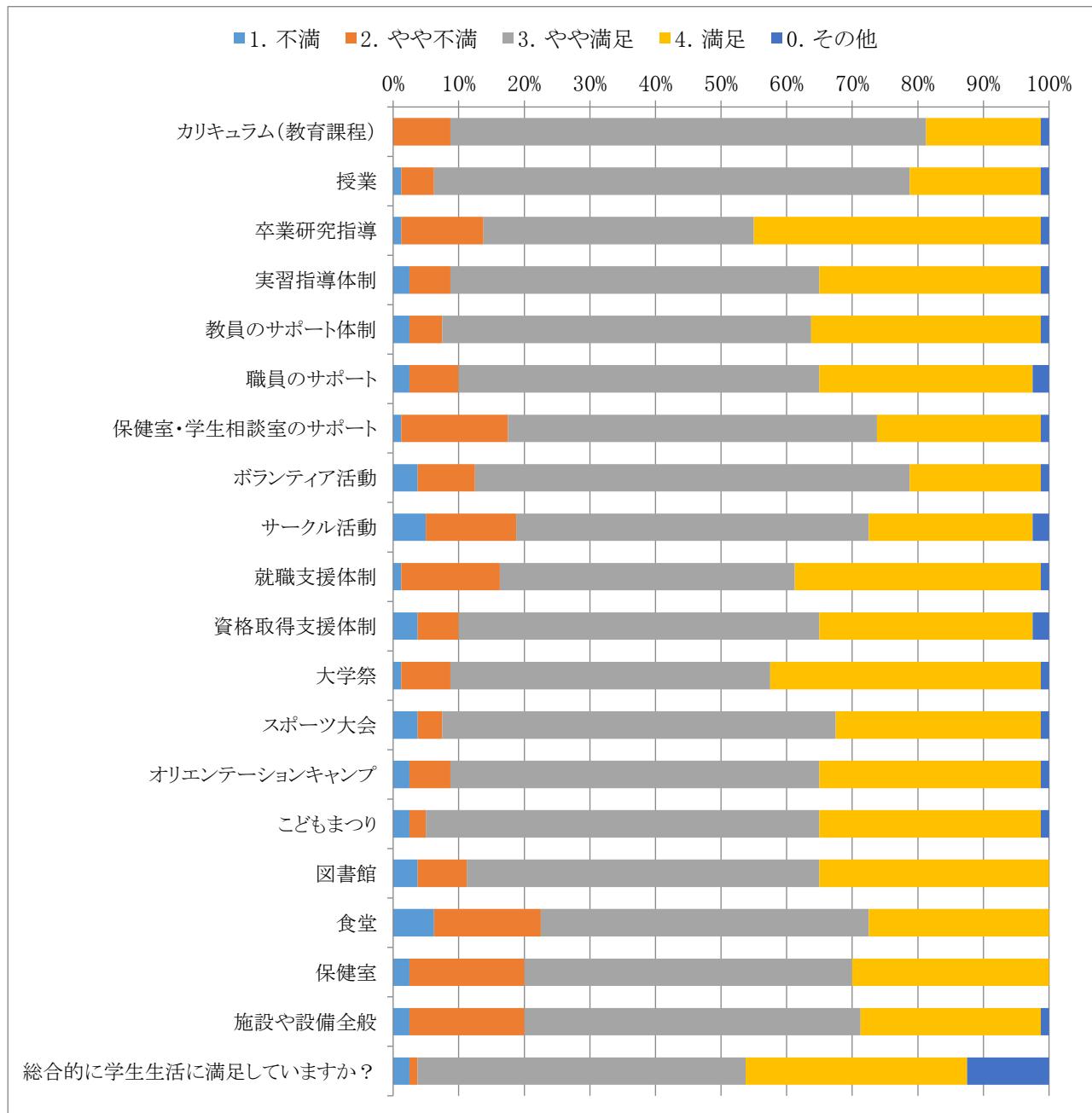
2) 自己点検

項目	1. 身に付かなかつた	2. あまり身に付かなかつた	3. まあまあ身に付いた	4. 身に付いた	0. その他	計
豊かな人間性と社会性を支える広い教養	0人 0%	6人 8%	41人 51%	23人 29%	10人 13%	80人
子ども学に関する専門力	0人 0%	5人 6%	41人 51%	25人 31%	9人 11%	80人
子ども支援、子育て支援に必要な実践力	1人 1%	5人 6%	44人 55%	21人 26%	9人 11%	80人
子どもを取り巻く幅広い問題を考察できる能力	2人 3%	4人 5%	46人 58%	19人 24%	9人 11%	80人
問題解決能力、コミュニケーション能力等	1人 1%	6人 8%	44人 55%	20人 25%	9人 11%	80人
地域の教育文化の創造に関心を持ち、取り組む姿勢	1人 1%	5人 6%	45人 56%	19人 24%	10人 13%	80人

※「その他」は、無回答または複数回答のため判別がつかなかったものです。

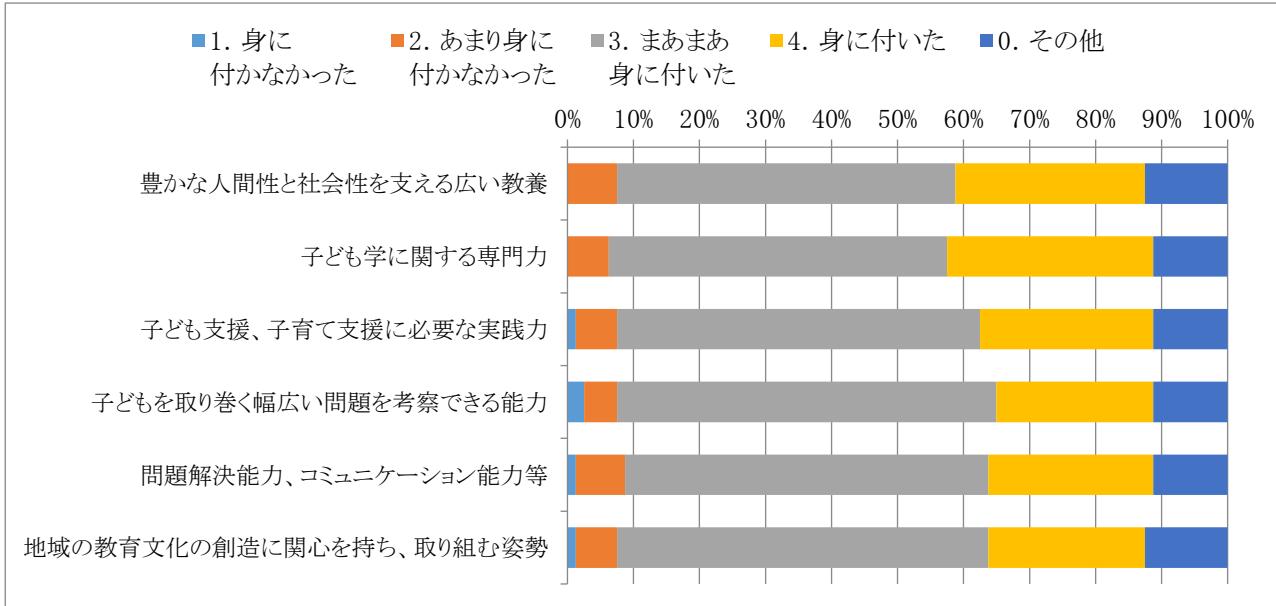
3 グラフ

1) 満足度調査



※「その他」は、無回答または複数回答のため判別がつかなかったものです。

2) 自己点検



※「その他」は、無回答または複数回答のため判別がつかなかったものです。

4 自由記述

- ・子ども学に関する専門力を身につけることができ、問題解決能力、コミュニケーション能力等も身につきました。
- ・とても楽しくできました。 謝謝。
- ・たのしかった。
- ・教育実習や学校支援ボランティア、教員採用試験など、たくさんの先生方や仲間に支えられながら充実した4年間を過ごすことができました。
- ・1つ下の学年から特別支援学校教員免許状を取得できるようになりましたが、私も特別支援学校教員の免許を取得したいなと思いました。
- ・大学1年～4年にかけて様々な先生方と関わってきました。教採を受けるに当たって多くの先生方に支えられ、合格をし、先生としてこれから生きていくことができます。4年間という短い間でしたが、たくさんの教養と社会人としての心得を学ぶことができました。ありがとうございました。
- ・4年間ありがとうございました。
- ・今までありがとうございました。
- ・楽しかったです。
- ・なぜ車で通学がいけないのか理由が知りたい。理由が知らないからルール違反をする人が減らない。理由を説明せずにダメというのは本当につまらない。説明できないくらいしょうもない理由なのでですか？そんなに厳しく取り締まってるなら理由を教えてください。
- ・駐車場の管理。ぶんぶん広場利用車の駐車マナー
- ・教員採用試験の勉強が充実していた。
- ・絶対に喫煙所を作るべき。
- ・この4年間、とても楽しく過ごすことができました。でも、就職相談でキャリアセンターに行った時に、あまりためにならないなど感じました。
- ・キャリアセンターで相談する時に、きちんとアドバイスをしてくれて就職活動の事を分かっている人が少なく、行ってもあまり意味がなかった。学食の値段が高い。
- ・今まで本当にありがとうございました。
- ・駐車場の利用のしかたが悪い。学生だけでなく、距離で先生方も公共機関を使うべき。業務連絡が少し遅い。

5. まとめ

1) 満足度調査

大学全体の調査結果と比べると、「就職支援体制」「保健室」を除く項目において、上回っている。

子ども学科の状況をみると、ほとんどの項目において満足（やや満足＋満足の割合）と回答した割合が70%～90%であり、総じて満足度は高いと考えられる。特に高かったのは、教務の「授業(93%)」、「カリキュラム(教育課程)(91%)」、「実習指導体制(90%)」、自治会活動、学科行事は「子ども祭り(94%)」、「スポーツ大会(91%)」、「大学祭(90%)」、「オリエンテーションキャンプ(90%)」と4項目すべてで90%を超えた。一方で、学生生活の「サークル活動(79%)」、施設の「食堂(78%)」、「施設や設備全般(93%)」の満足度が低かった。

また、全体でみると、満足（やや満足＋満足の割合）と回答した割合が80%以上の項目が20項目中17項目で、内90%以上の項目が8項目であった。昨年度の80%以上の項目数が11項目であったことに比べると、高くなっている傾向が見られる。

自由記述を見ると、教員や学友に対する感謝の言葉が多く見られるとともに、キャリアセンターでの相談体制、食堂の値段、駐車場に係る規則、マナーについて改善を求める声があった。

2) 自己点検

「身に付いた＋まあまあ身に付いた」と答えた学生が占める割合が、すべての項目で80%以上、内1項目は90%以上であった。「身に付かなかった」と回答した学生が「子ども支援、子育て支援に必要な実践力(1名)」「子どもを取り巻く幅広い問題を考察できる能力(2名)」「問題解決能力、コミュニケーション能力等(1名)」「地域の教育文化の創造に関心を持ち、取り組む姿勢(1名)」により、今後、授業の在り方について検討していく必要がある。

2019年度 学生生活の満足度調査結果（音楽学科）

1. 調査回答者

4年次 24名

2 調査結果

1) 満足度調査

領域	項目	1. 不満	2. やや不満	3. やや満足	4. 満足	0. その他	計
教務	カリキュラム(教育課程)	2人 8%	4人 17%	7人 29%	11人 46%	0人 0%	24人
	授業	2人 8%	3人 13%	9人 38%	10人 42%	0人 0%	24人
	実技レッスン	0人 0%	1人 4%	1人 4%	22人 92%	0人 0%	24人
学生生活	教員のサポート体制	1人 4%	5人 21%	7人 29%	11人 46%	0人 0%	24人
	職員のサポート	4人 17%	5人 21%	7人 29%	8人 33%	0人 0%	24人
	保健室・学生相談室のサポート	0人 0%	1人 4%	4人 17%	19人 79%	0人 0%	24人
キャリアアップ	就職支援体制	1人 4%	4人 17%	9人 38%	10人 42%	0人 0%	24人
	資格取得支援体制	1人 4%	2人 8%	10人 42%	11人 46%	0人 0%	24人
	大学祭	4人 17%	3人 13%	9人 38%	8人 33%	0人 0%	24人
自治会活動	スポーツ大会	4人 17%	5人 21%	8人 33%	7人 29%	0人 0%	24人
	オリエンテーションキャンプ	4人 17%	0人 0%	12人 50%	8人 33%	0人 0%	24人
学科行事	定期演奏会	2人 8%	1人 4%	10人 42%	11人 46%	0人 0%	24人
	図書館	0人 0%	0人 0%	7人 29%	17人 71%	0人 0%	24人
施設	食堂	0人 0%	3人 13%	11人 46%	10人 42%	0人 0%	24人
	保健室	0人 0%	1人 4%	6人 25%	17人 71%	0人 0%	24人
	施設や設備全般	4人 17%	5人 21%	8人 33%	7人 29%	0人 0%	24人
総合	総合的に学生生活に満足していますか？	0人 0%	4人 17%	5人 21%	9人 38%	6人 25%	24人

※「その他」は、無回答または複数回答のため判別がつかなかったものです。

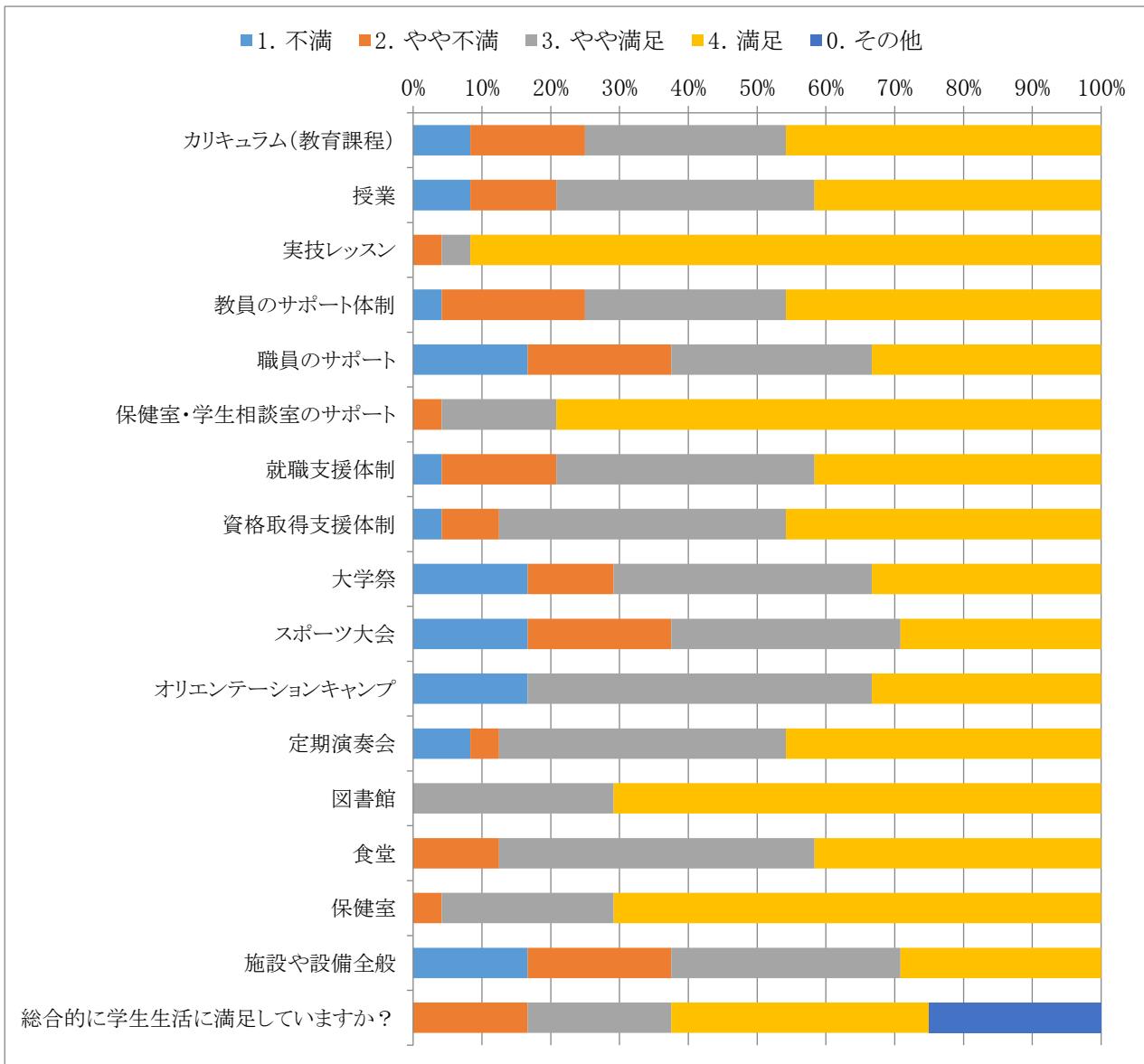
2) 自己点検

項目	1. 身に付かなかった	2. あまり身に付かなかった	3. まあまあ身に付いた	4. 身に付いた	0. その他	計
豊かな人間性と社会性を支える広い教養	0人 0%	2人 8%	9人 38%	7人 29%	6人 25%	24人
音楽に関する専門力	1人 4%	1人 4%	2人 8%	14人 58%	6人 25%	24人
音楽のコミュニケーションに必要な実践力	0人 0%	1人 4%	8人 33%	9人 38%	6人 25%	24人
音楽が人間に果たす役割、および社会における音楽の役割について理解した	0人 0%	2人 8%	6人 25%	10人 42%	6人 25%	24人
音楽を社会に向けて発信、伝授する能力	0人 0%	2人 8%	6人 25%	10人 42%	6人 25%	24人
地域の音楽文化に貢献できる指導力と応用力	0人 0%	3人 13%	6人 25%	9人 38%	6人 25%	24人

※「その他」は、無回答または複数回答のため判別がつかなかったものです。

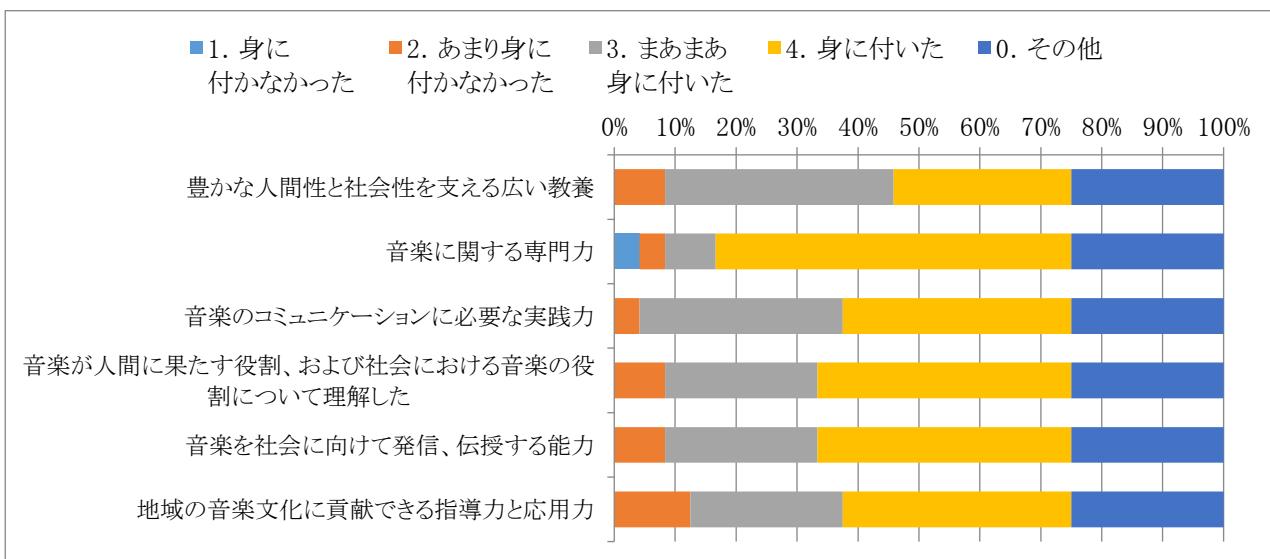
3 グラフ

1) 満足度調査



※「その他」は、無回答または複数回答のため判別がつかなかったものです。

2) 自己点検



※「その他」は、無回答または複数回答のため判別がつかなかったものです。

4 自由記述

- ・ソルフェージュや和声など音楽的な学問（楽典的）は、4年生までしたかったし、するべき。楽曲の知識の差があるから、特に、VIIぐらいまで行って、より専門的なことまで学びたかった。定演では、吹奏楽、合唱以外の出演をオーディションで行うなどせず、決まっていて、不満に思うこと也有った。教職も吹奏楽も、もっと専門的な人に指導をしてもらい、深い学びへつなげたかった。実技レッスンは最高でした。
- ・練習室が換気ができるよう、窓をあけることができたらうれしいです。
- ・学生課、態度悪い。
- ・言っても何も変わらないと思うので言いません。
- ・夏場の実技試験の時、廊下で待機している際に熱中症になりかけたので、冷房の効いた部屋で待たせてほしいです。
- ・音楽専門科目が少なすぎるし、1つ1つのレベルが低すぎる。高校時代やったことや独学でもできるような基礎知識ばかりだったので、大学で身についたことが少なく身についた実感がない上に、自分でおぎなわないといけない事が多すぎたので困りました。実技レッスンやスコアリーディング、和声II、対位法I、IIはとても勉強になることが多かったです。和声や対位法はI IIでは勉強が足りなかつたので、もっと増やしてほしいです。
- ・定員以上？に新入生をとる前に音楽科生が自由に使える3号館の部屋のような練習室を増やしてほしかったです。実技試験の日などは居場所も練習場所もなくて大変でした。あと、練習室においてあるピアノの調律やペダルの不具合、壊れたピアノのいすやエアコンの不具合など、3号館練習室に関しては見直してほしいところが多くありましたので、施設や設備全般にはやや不満がのこります。あと、練習室はにおいがこもりやすいと思うので、換気できるようにする方がいいと思います。エアコンの換気モードなど。
- ・卒業する私たちではなく、在校生の声に耳を傾けるべきだと思います。公開レッスンも鍵盤楽器ばかりでしたので、他の楽器もお呼びしてほしかったです。子ども学科の連取室の方がピアノの状態が良い。音楽学科のピアノの調律の悪さ。学生が喫煙所で喫煙しても反省文を書いたと噂で聞きましたが、喫煙所なら良いのでは？楽器庫もドアの施錠もせず、カメラも停止しているのは東南があったのにも関わらず、どうかと思います。
- ・レッスン回数が数なかつた。
レッスン代を請求された。
時々発言するハラスメント。
休校補講を知らせてくれなかつた。
チケット代を教員から売りつけられそうになつた。
- ・練習室をもっと増やした方が良いと思います。
- ・充実した4年間を送ることができました。ありがとうございました。
- ・音楽学科で教員採用試験を受験する学生に音楽の解説編の指導もあるとよりよいと感じます。多くの方に親身になってサポートしていただき、成長することができました。感謝しています。
- ・森光先生の授業とレッスンがとても勉強になりました。
保健室では体調不良の時や、悩みがあるときにたくさんお世話になりました。
スポーツ大会は規模を縮小して行ったほうがいいと思います。
先生間の連携をもう少しとてほしいです。生徒が学びたいことを尊重して、優先してほしいです。
- ・副科とか充実できていて、たくさん取りたいと思えるようなレッスンでした。
子ども学科（他学科）との交流がもっとほしかつた。

1) 満足度調査

教務に関しては、「やや満足・満足」という回答が高い割合を占めているが、中でも、実技レッスンは「満足」という回答が92%と非常に高かった。学生の音楽基礎力は、入学時から差が大きく、特に基礎力のない学生については、「授業担当者意見交換会」でも課題として取り上げているが、今回の学生の自由記述では、さらに進んで学びたい学生の意見もあることがわかった。

学生への支援という点では、学生相談室のサポートに対して「やや満足・満足」という回答が96%と最も高く、教員75%、職員のサポートが62%となっている。学科教員だけでなく、学生相談室、職員との連携を図って、さらに学生への支援を強化していきたい。

また、行事では、定期演奏会やオリエンテーションキャンプなど学科行事に対しては、「やや満足・満足」という回答が80%を超えており、自治会の行事に関しては、大学祭71%もスポーツ大会62%であった。特に、スポーツ大会については、音楽学科は参加率が非常に低く、4年次での参加者はほとんどいない。準備時から参加を促すことも必要である。

大学設備に対しては、「やや満足・満足」が図書館100%、保健室が96%と非常に高いが、設備全般に対しては自由記述にあるように、練習場所の確保について、今後、学科で対応していきたい。

2) 自己点検

全ての項目において、「身に付いた」「まあまあ身に付いた」という回答が60%を超えており、特に、「音楽に関する専門力」が「身に付いた」という回答が多かった。「無回答・複数回答」のため判別されなかった回答が6人あり、今後の調査回答時には注意が必要である。